

関西天文ハイキング (8)

星田の降星山光林寺附近

交野市星田には、昔三つの輝く石が天から降ってきたと伝えられており、「星田三ヶ所の降石」として知られている。その一つが、光林寺にある。この寺の本堂の屋根瓦には九曜星が彫ってあり、本堂の左の小社の前には、北斗七星と「星森妙見宮」の字が刻まれた石の花筒がある。

この近くには「星の森」と、妙見信仰で知られる星田の妙見宮、通称小松神社があり、京阪電車私市からのハイキングコースに含まれている。

この近くを流れる「天の川」には、羽衣橋、逢合橋やかささぎ橋という橋がかかっている、地名にも天が原、

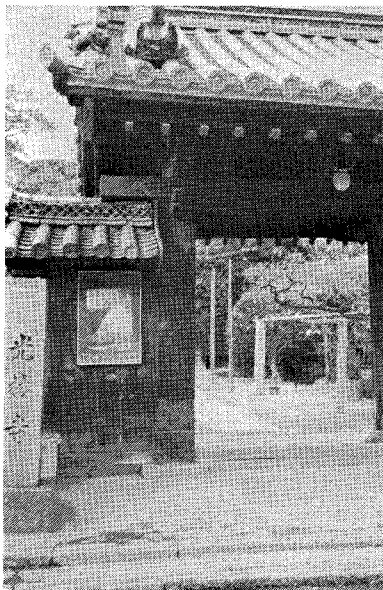
南星台というのがある。また織女星をまつる機物神社というのもあり、星にまつわる珍しい所にことかかない。

妙見宮縁起によれば、弘法大師がこの近くの獅子窟山吉祥院の岩穴で修行をした時、天から七曜星がこの星田の三ヶ所に下ったという。

光林寺は、国鉄片町線の星田駅のすぐ東の小学校の北側の道を東北方にとると、家並みの中にある。また、このあたりには寺が多く、すぐ近くにも「星の寺」というのがある。

地図は国土地理院の2万5千分の1の「ひらかた」、また吉田光邦著「星の宗教」(淡交社、昭和45年)250頁や、「星の手帳」(河出書房新社)1981年夏号(Vol.13),54頁を参照されたい。

(大阪女学院高等学校 天文部)



◇ 8 月の天文暦 ◇

日 時	記 事
1 7	望
4 21	木星 衝
7 23	立秋 (太陽黄経 135°)
8 11	月 最遠
9 3	下弦
11 7	水星 内合
16 19	朔
20 13	月 最近
20 15	水星 留
23 10	天王星 留
23 14	処暑 (太陽黄経 150°)
23 14	上弦
28 21	水星 西方最大離角
30 18	望

◇ 8 月の日月惑星運行図 ◇

